

少人数教育の充実に向けた取組

【会津教育事務所】

学 校 名	会津若松市立日新小学校
学年・教科等	全学年・算数科

全校体制のT・Tを活用した学力向上の取組

取組の内容

1 学習の基礎となる「土台・習慣づくり」

- ① 言語活動の基盤となる力の育成（辞書引き学習、N I E）
 - 児童全員に自分の辞書を準備させ、低学年から段階的な辞書引き指導
 - 新聞を活用した「日新フォーカス（新聞記事の要約）」による文章読解力や思考力・表現力の育成
- ② 学習内容の定着（単元テスト全国平均以上、「定着確認シート」の活用）
 - 繰り返し・振り返り指導や朝・放課後等を活用した個別指導による学習内容の定着
 - サポートティーチャーの活用による補充指導や上位児への添削指導
 - 年間指導計画に位置づけた定着確認シートの実施、過去問題等の活用
- ③ 授業につながる家庭学習、ノーメディアウィークの取組
 - 下学年（音読・宿題・テレビを消す・時間）、上学年（計画を立てて学習・時間・家読）を共通項目として入れた家庭学習カードを活用した家庭学習
 - 第三中学校区共通のノーメディア週間の取組

2 児童の自己存在感を高めるための「学級づくり」

- Q-Uの実施、K13法による事例検討会による組織的な支援体制の確立
- 学級力指標を活用した児童主体のよりよい学級をめざした話し合いや活動の実施

3 数学的思考力・表現力を高める「授業づくり」

- ① 問題提示や算数的活動の工夫
 - 条件不足、条件過多などの「問い」を引き出す問題の工夫、学習意欲や思考力を高める教材や多様な算数的活動の工夫
- ② T・T指導による個に応じた指導の充実
 - 教頭（1・3・5年）、教務（2・4・6年）がT・T実施単元を中心にT・T担当として授業に入り、授業の準備から評価までを一緒に行う個に応じた指導の充実
 - 一斉授業やグループ学習、習熟度別学習、学年全体でのT・Tなど様々な形態の工夫
- ③ かき表し、伝え合う活動の充実
 - 自分の考えを言葉、式、図などでかき表すノート指導
 - ペア、小集団、全体で伝え合う活動の活性化

成果と課題

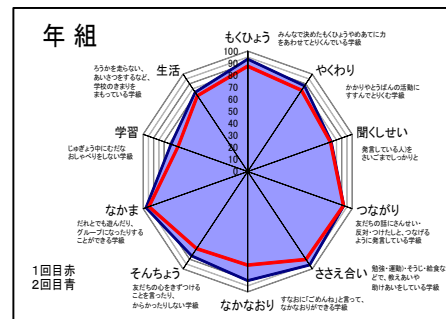
1 学習の基礎となる「土台・習慣づくり」

- 全校共通した「家庭学習カード」の活用により、下学年では、時間や学習環境について改善が見られ、上学年では、自分で計画を立てるようにさせたことで、学習習慣の定着や自分なりの工夫や改善が見られるようになった。学校評価の保護者アンケートも「生活習慣」「家読」「ノーメディア」の取組の評価が高くなった。
- T・T指導による習熟度別学習、サポートティーチャーを活用した放課後の補充指導、発展的問題にチャレンジする添削指導は、基礎的・基本的事項の定着や算数オリンピック等にも大きな成果が見られた。保護者のアンケートも「学力の伸び」についての評価が高くなった。
- 定着確認シートの平均正答率を見ると、どの学年も、毎回サンプル校平均を上回っている。年間指導計画に位置づけて時間を確保し、教師がその有効性を意識して活用のしかたを工夫して取り組んできたことが結果につながった。

【学級力指標】

2 児童の自己存在感を高めるための「学級づくり」

- Q-Uや学級力指標などの客観的資料をもとに、事例研究を通して組織的な支援を行っていたことは、望ましい集団づくりにつながった。特に学級力指標は、目標が数値となって具体的に示され、子どもたちも意識して、自分たちの学級を、よりよくしていくために考え行動していこうという気持ちが育ってきている。



3 数学的思考力・表現力を高める「授業づくり」

- 問題提示を工夫して問いを引き出していくことや多様な算数的活動を授業の中に組み込むことは、児童の思考力や表現力を高めることに大変有効であった。
- 授業の準備から評価までを同等に責任をもつという認識でT・Tによる授業実践に取り組んできた。T・Tによる指導は、児童一人一人の実態を把握し、きめ細かに指導ができることや教師の協働を促し、意識改革に大変有効だった。
- 自力解決の時間を確保したT・Tの支援により、児童のノートの変容からも表現力が高まっていることがわかる。また、ペアやグループ、全体など様々な形態で伝え合う活動を取り入れてきたことで、相手の話を良く聞き、それを生かした発言ができるようになり、表現力の向上につながっている。特に、同質のグループでの活動は、児童同士の学び合いが活発になり、思考力の向上につながった。

【大きな円をつくるT・Tの授業】

- 単元始めの児童の実態や教材観などを共通理解する十分な時間の確保と臨機応変なT・Tの支援
- 教師が教材解釈力を高め、練り上げの構想をしっかりとって授業を展開すること、一人一人の児童の考えをしっかりと見取る力をさらに高めていく日々の研鑽
- 現在の体制を維持し、組織的な学力向上や望ましい集団づくりをすすめるために、少人数指導を選択してさらにT・Tで指導できる時間を増やすなどの検討



<円の概念や美しさを体感した>